

とっとり 県議会だより

編集・発行…鳥取県議会

県議会広報紙…年4回発行 平成25年12月1日発行

平成25年9月定例会

No.006

Sep.

9月
議会

📌 主な記事 Contents

学生議会・新副議長
あいさつほか..... 2p
代表質問..... 3p
一般質問..... 4~6p
議決結果..... 7p
委員会活動ほか..... 8p



鳥取短期大学 山上 聖子さん

鳥取大学 河津 里奈さん

鳥取大学 原回 明さん

米子工業高等専門学校 安井 貴浩さん

鳥取環境大学 山本 直幹さん

米子工業高等専門学校 山根 大明さん

鳥取環境大学 別所 絵梨さん

鳥取短期大学 宮本 音々さん

10月15日開催の学生議会に参加の皆さん

9月定例会におきまして、県議会議長に就任いたしました。その使命と職責の重大さを痛感しているところであります。本県の県政は今、課題が山積しています。TPP交渉の本格化により基幹産業である農業は大きな岐路に立たされています。人口減少の急速な進展が予想される中、面積の大部分が中山間地域である本県は、定住人口の減少を可能な限り食い止めて、持続可能な地域社会を構築していかなければなりません。この他にも医療・福祉、教育、産業振興など多くの課題がございます。こうした課題に対し、私ども県議会は、行政の監視という役割を的確に果たすと共に、最終的な意思決定機関として、県民の皆様への負託にしっかりと応えて参ります。加えて、開かれた議会の推進と議会の自己改革を図り、県民主役の議会運営を推進していく所存です。

県民皆様の御協力と御支援を心からお願い申し上げます。



第83代
鳥取県議会議長

野田 修

新議長就任あいさつ

9月定例会は9月11日に開会した。開会日、伊藤美都夫議長、稻田副議長から辞職願が提出され、本会議で賛成多数で許可。選挙の結果、議長に野田議員、副議長に前田議員を選出した。続いて、平井知事から総額104億円余の一般会計補正予算案、全国で初めて手話を言語と定義した手話言語条例案など25議案が提案された。

鳥取県議会自民党と会派「絆」が代表質問に立ち、一般質問では23人が県政の幅広い諸課題について活発な議論を展開した。賛意の表明や条例化の文言を問うものなど手話条例を巡っての質問が相次ぎ、東京五輪の誘致が決まったことから、鳥取にも波及効果を及ぼせないかという質問も目立った。

議員提案は「消費税引き上げに伴い低迷する地方への対応を求める意見書」など3件の意見書、2020年東京五輪を支援する決議の計4件。監査委員、人事委員、土地利用審査委員の9件の人事案件も追加提案された。

最終日の10月8日、多くの聴覚障がい者が傍聴席で見守る中、手話言語条例を全員一致で可決するなど知事提出議案計32件、議員提案の4件を可決。決算認定など2件を継続審議として閉会した。

9月定例会の概要